



SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社春山商会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質を把握し、適切な分別・管理・処理に取り組んでいる。 ・不法投棄の禁止について従業員へ周知徹底している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・軽油と灯油については自社のスタンドにて管理している。 ・建設機械については特定特殊自動車排ガス規制等に関する法律に基づいた特定特殊自動車を導入している。 ・事務所についてはLED照明を使用している。 ・営業車2台はハイブリット車を使用している。 ・【予定】令和5年5月までに、簡易計算シートを用いて算出する。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・営業車2台はハイブリット車を使用している。 ・営業車を減らすことで、CO <sub>2</sub> 排出の削減に努めている。 ・【予定】令和5年5月までに、簡易計算シートを用いてエネルギー使用量の削減に取り組む。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・分別を徹底し、産廃で出たブルーシート等を再利用しプラスチックゴミの削減に努めている。 ・自社整備工場にて出る古タイヤ、金属くず、廃油等は適正に処分を委託することで環境に悪影響を及ぼさないよう配慮している。 ・産業廃棄物協会の依頼により河川や山等で不法投棄のパトロールを実施することで環境問題を意識し行動している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙を利用している。 ・裏紙の使用を促進し、メモ等に活用している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・井戸水を使用し、水質検査を年2回実施している。 ・水道の蛇口はしっかり閉めることを徹底している。 ・節水機能が付いた最新の洗濯機を導入し、節水に努めている。 ・【予定】令和5年5月までに、事務所についても自動水道蛇口に変更し節水に努める。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生クラッシュラーンの販売により資源循環へ貢献している。 ・産業廃棄物の処理場において煙が出ない機械を導入し環境に配慮している。 ・再生紙を使用している。											9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所や現場に花植えや植栽を行っている。												11.6 11.7		13.1 13.3		15				17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・建設機械については特定特殊自動車排ガス規制等に関する法律に基づいた特定特殊自動車を導入しエネルギーの見直しに取り組んでいる。 ・事務所についてはLED照明を使用し、節電に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・農業用排水路に製材所廃材の背板やチップを利用している。							6					9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・産業廃棄物協会の依頼により河川や山等で不法投棄のパトロールを実施している。														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・採石については熊本県技術センターや中央土木コンサルティングに骨材の試験表を提出し、安全性を証明している。 ・試験結果に基づき生コンやコンクリート等の材料を仕入れている。 ・品質向上のためお客様の声を大事にしている。			3.9								9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・現場においては昇降階段に手すりを設置している。 ・現場の看板についてはわかりやすい表記を徹底している。 ・外国人用に通訳用の変換器を設置している。											9.1	10	11.7						17			
	39	【地域資源】 ・地元産産品を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・骨材については熊本県産の材料を地元企業から仕入れている。							2.3 2.4		7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15		17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・【予定】令和5年5月までに、本社事務所の改修工事として木材を使用する。									7							12.2	13.1			15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・コンクリートくず等を融合し製品の開発に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●								2.3 2.4				8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県建設業協会阿蘇支部を通じて熊本県、阿蘇市と災害協定を締結している。 ・現場や事務所周辺の清掃活動ボランティアを従業員全員で実施している。 ・子ども110番に登録し、近所の子供が安心して通学できるよう心掛けている。 ・警察と連携し、会社の車に「安全パトロール」のシールを貼ってパトロールを実施している。 ・防犯カメラを設置し、警察への協力体制を構築している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・各現場ごとに避難訓練を実施している。 ・緊急避難場所やハザードマップを周知している。 ・災害情報共有システム一斉登録訓練にて、アプリを活用し、熊本県や熊本県建設業協会と連携し年1回訓練を実施している。 ・防災グッズとして電池、蓄電池、飲料水等を常備している。											11.5		13.1						16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・AED講習を受講し緊急事態に対応できるようにしている。 ・地域事業者として、緊急事態の避難場所に事務所を開放している。	1.5		3	4								10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●												9									12	13.1	
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・金融機関と連携し、社員へ定期的にSDGsの普及啓発のため教育の機会を提供している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生のインターンシップの受け入れや出前事業を積極的に行っている。				4					8.6		10.2										17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元高校4校へ定期的な求人募集しており積極的に地元の学生を雇用している。				4.4				8.5 8.6													17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●					4.3 4.4 4.5				8.6		10.2			12	13	14	15					17	